

新飯能

発行 党 日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江 972-6401
山田とし子 973-4710
新井たくみ 978-0175
滝沢おさむ 972-3875

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所416)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

18年度案 増税で個人市民税が 3・6億円の増収に

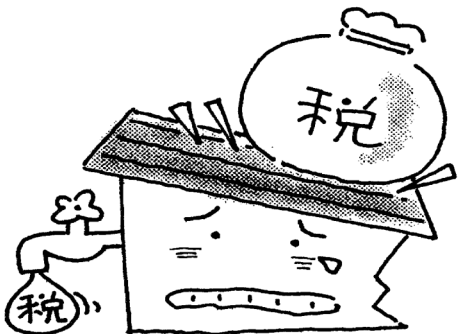
3月定例会市議会始まる

三月定例会市議会が二日から始まりました。三月議会では来年度予算が大きな議案として審議されます。

十八年度の予算総額は一般会計で、一・三%増の二三〇億円。上下水道の二三〇億円。上下水道、区画整理、介護保険会計など十一の特別会計を含めると四六四億円八千万円になっています。

歳入では個人市民税が、税制改訂(改悪)などによって一〇・四%、三億六千万円もの増収になっています。たばこ税も増税により四九〇〇万円の増収になっています。

歳出の主なものでは、必要性がない庁舎別館建設に五・九億円が計上されているほか山手



町用地(平岡レース跡地)を買戻すための基金が補正予算を含めて七億円、武蔵丘ショッピングセンターに併設する形で、「観光案内所・観光トイレ」建設も予定しています。

新たな事業としては、山間地域振興プログラムを実施する団体への助成、三〇種類の「エコツアー」の企画、明治期の土蔵店の

蔵「絹甚」の修復工事などが予定されています。介護保険事業では、制度が変わったことにより、地域包括支援センターを新たに設置し、地域支

援事業を進めていくとしています。

戦争を前提とした自治体での計画が

条例案では、「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」に基づき、飯能市国民保護協議会設置及び対策本部の設置が提案されました。「十八年度、飯能市としての国民保護計画を作成するため」としてありますが、いよいよ戦争を前提とした自治体での計画が具体化されようとしています。

市民要求かかげて

4名の党市議団の一般質問

滝沢おさむ

3月9日(木) 10・50

- ① 国民負担がますます重くなる中で、低所得者世帯を守る自治体の役割は
- ② 都市計画道路、双柳岩沢線と加治小学校付近までの街区道路③ 換地設計の見直し④ 阿須小久保線に係わる阿岩橋⑤ 阿須小久保線と下水道⑥ 特定施設誘導地域の土地問題⑦ 元加治駅の防犯パトロー

ヨ田ユウキ

3月9日(木) 15

- ① 公立保育所の民営化について② 第一保育所は山手町用地に移転を③ 八幡保育所の修繕④ 妊婦の健康診に歯科検診や歯科健康教室を⑤ 障害者自立支援法⑥ 施設及び利用者の

新井たくみ

3月10日(金) 11

- ① 職員定数② 学校給食③ 一般ゴミの有料化④ 消防の合理化計画⑤ 増税と負担増のもとで低所得者に配慮した施策を⑥ 品目横断的経営安定対策で農業はどうなるか⑦ 生産緑地の追加指定について⑧ 地産地消、観光農林業の振興⑨ 森林文化都市としての

- 森林整備⑩ 住宅周辺の



絹甚に飾られた300年前のおひなさま。飯能市魅力アップ支援事業「ひなまつりお宝展in飯能」

主催: 木馬をつくる会

金子とくえ

3月13日(月) 11・10

- ① 国保税の引き下げを② 一般会計からの繰り入れ③ 滞納対策④ 分納のあり方④ 一部負担金の減免を⑤ 介護保険Ⅱ負担増に対応する支援策、その他⑥ DV被害の実態と自治体の支援策⑦ 児童虐待の実態と市の取り組み⑧ 青年の雇用対策⑨ 障害者の雇用対策⑩ 少人数学級の充実⑪ 学校図書館司書の配置⑫ 在宅重度障害者の入浴サービスの充実を⑬ 「飯能桜の森計画」⑭ 県道青梅―飯能線に照明灯の増設とフェンスの改善を

紋 紋

前号のこの欄で茨木のり子さんの「顔振峠」の詩を紹介させてもらいました。ところが地の文が「フカゲという美しい地名をつけた」となっていて、地名をつけたのが茨木さんであるかのような表現になってしまいました。本当は「つけた」のではなく「見つけた」としたのですが、一字間違っただけで全然別の意味になってしまふ文章の難しさを痛感しています▼「顔振峠」は茨木さんの第二詩集「見えない配達夫」に載っています。この詩を見つけたとき、

若き日の詩人が飯能のこの地を訪れ、「風影」(ふかげ)という美しい地名を見つけた時の喜びが伝わってきたような気がしました。「顔振峠」は「風影」という部落の名前が書かれたのではないかとさえ考えられます▼文章は難しいといえ、二十七日の「赤旗」文化欄の「月曜インタビュー」記事、美空ひばりと田岡一男山口組三代目組長が主役の作品をとりあげた中で「功成り名とげたビッグな二人が主役」の表現には驚きました。闇の帝王に「功成り名とげた」なんて違和感でいっぱいです

乳ガン検診を希望妻貞吉君に

新婦人飯能支部が市と懇談

新日本婦人の会飯能支部は、日ごろの福祉や教育に関する身近な要望を市政に届けようと福祉部長や教育次長と懇談しました。

福祉関係では、福祉部長、保健センター所長が

応対し、①市民検診、特に乳ガン検診を希望者全員が受けられるよう充実してほしい。②小児救急医療体制の整備。③防災センターの休祝日・夜間診療所は内科、小児科となっているのに小児科の



子どもたちも一緒に

館への専任の司書の配置と現在行っている図書整理員の増員。③小・中学校での少人数学級をさらに充実させてほしい等、要望と懇談を行いました。「新図書館建設」については、教育次長

医師がいない。④福祉センター、保健センターの駐車場が狭く公民館や市役所の駐車場の調整をしてほしい。⑤幼児期〜就学前の検診を充実させてほしい等です。

少人数学級でゆとりある教育を

教育関係では、教育次長が対応しました。要望書の内容は、①公民館に幼児用のトイレを設置してほしい。②市立図書館の立て替え。③学校図書館

から、第四次総合振興計画の実施計画で平成一九



障害者の負担増に対策を

障害者団体と市が懇談

二十四日、障害者福祉施設「かわせみ」では施設長、仲間の会の会長、保護者、同施設の福祉保育労日和田会分会執行委員長など七名が福祉課と懇談しました。

四月から施行される障害者自立支援法は、障害者や家族の実態をふまえ、新制度のもとで利用の制限や排除が生じないように、自治体としてしっかりと説明し周知を図ること、そして実施責任を果たすために市独自に施策の確立を、とあらかじめ提出した要望書にそって、懇談しました。障害者から「ハローワークに行っても運転免許を持っていないか、パソコンができる事が条件になっていて働き

年「基本計画」、平成二〇年「実施計画」と位置付けられたことからやつと動き出す見通しができたと報告され参加された方々は、一日も早く実現してほしいと口々に訴えました。

たくても働く場がない」。施設側から、「国の補助対象の開所日と比較して、土日、祝祭日、正月休みを取ると、日数が足りない、施設は千七百万円の赤字、さらに食費を百五十円減らすと百万円の赤字になる。出勤日を増やせばそれだけ利用者の負担は増えることになる。市として負担軽減を！。県で実施している障害者施策が後退しないよう強く県に求めてほしいと要望がありました。担当課は、短期間の施行であるので説明の対応に連日追われている、三月三日の申し込み期限後未提出の方には連絡を取り周知を図っていく。限られた財政の中で、



今ある資源を活用していく。心身障害者の在宅手当てについては検討課題と考えている。などが懇談の中で語られました。阿須フレンドワークで市が具体的に説明した事例は左表のとおりです。

障害者年金が年間80万円の方がグループホームに入所して通所施設を利用した場合の負担額

事例1	個別減免が使える場合			負担総額
	グループホーム実費 (5万円とした場合)	通所施設食費	サービス利用料	
現行	50000円			50000円
4月から	50000円	6020円	1963円	57983円
事例2	個別減免が使えない場合(預貯金が350万円以上)			負担総額
	グループホーム実費 (5万円とした場合)	通所施設食費	サービス利用料	
現行	50000円			50000円
4月から	50000円	6020円	24600円	80620円

アメリカの経済封鎖のもとで

キューバへの旅④

笠縫在住 菅間 徹

キューバでも一九六七年までは税金がかりましたが、現在は労働者、庶民には一切の税金がかりません。九四年に税金を取る事を決めました。が実施されてません。ただし個人の商店、食堂、理髪店、そして個人の農家、外資系、国内のホテル等々は確定申告をして納税をします。国民の所得が低いので税金がかけられず様子をみている状況です。

選挙権は十六才以上の全ての国民に、被選挙権は、地方議会議員と県議会議員は十六歳以上の全ての国民が、国会議員は十八歳以上の全ての国民が持つ事が決まっています。任期は地方議員が二年半で県議会と国会議員が五年となっています。一九六一年に米国外交が断絶して経済封鎖を受けています。そのためにキューバ社会を理解するために、キューバがアメリ

アメリカ帝国主義の干渉と対決するために革命後七年経過してますか「戦時動員体制」とでもいべき、特殊な政治体制をとっていることを理解しなくてはなりません。国連総会では、国連憲章において決められた神聖な目的と原則を尊重することを決めています。すなわち「諸国間の主権の平等、内部問題に対する不干渉・不介入、国際通商・航行の自由」です。これに対してあきらかに違反しているのがアメリカの対キューバ経済・通商・金融封鎖です。

二〇〇五年の国連総会における米国の対キューバ経済封鎖解除決議結果は賛成一八二・反対三・棄権一・欠席四で、アメリカ、イスラエル、マールシャル諸島、パラオの四カ国が反対しています。被害総額八二〇億ドルです。日本は九七年より賛成票を投じています。キューバ国民が切に希望している事は一日でも早い経済封鎖解除の国連決議です。しかしアメリカは「カストロ政権を早期に倒壊させる好機であり、一層の締め付け政策を検討する」と述べています。この事を見ただけでもブッシュ大統領が盛んに口に出している自由・民主主義の程度が計りしれると思います。